

緊急地震速報の活用した超高層ビルにおける地震防災対策

Application of Earthquake Early Warning System to disaster mitigation for High-Rise Building

久保 智弘 [1]; 久田 嘉章 [2]; 村上 正浩 [3]; 山本 俊六 [4]; 中村 洋光 [5]; 堀内 茂木 [5]

Tomohiro Kubo[1]; Yoshiaki Hisada[2]; Masahiro Murakami[3]; Shunroku Yamamoto[4]; Hiromitsu Nakamura[5]; Shigeki Horiuchi[5]

[1] ABS コンサルティング; [2] 工学院大・建築; [3] 工学院大・建築; [4] 鉄道総研; [5] 防災科研

[1] ABS Consulting; [2] Kogakuin Univ.; [3] Architecture, Kogakuin Univ.; [4] RTRI; [5] NIED

<http://www.kogakuin.ac.jp/>

本研究では、超高層ビルを対象として緊急地震速報を活用した地震防災対策の一環として、短周期地震動を対象とした防災対策に加え、長周期地震動を対象とした防災対策を検討した。緊急地震速報を周知するために防災訓練で活用を行い、さらに事前に各フロアにおける防災マップを各階担当者に作成してもらい、危険箇所などを把握してもらった。また、緊急対応組織を参集するためのトリガー情報として活用を行った。また長周期地震動対策として、緊急地震速報を活用して、長周期地震動が到達する前にエレベータ制御をおこなうことも実施している。

今後は、緊急地震速報のアナウンス後、危険な個所から離れるといった危険回避ができるよう、防災訓練と周知活動を行っていく予定である。